土佐塾3年連続花園

高校ラグビー県予選 中央に76―0

【決勝　土佐塾―高知中央】後半23分、スクラムからこぼれたボールを土佐塾・武田⑨が奪ってトライ。64―0とする（春野球技場）

ラグビーの第94回全国高校大会県予選を兼ねた県高校秋季大会最終日は16日、春野球技場で決勝を行い、土佐塾が高知中央を76―0で下し、3年連続14度目の優勝。全国大会（12月27日開幕・花園ラグビー場）出場を決めた。

土佐塾は前半4分、相手キックをキャッチしたFB金崎が、50㍍を走って先制トライ。その後も攻め続け、前半で40―0と試合を決定付けた。後半、ミスが続き中央に攻め込まれる場面もあったが、無得点に抑えた。高橋が3、竹嶋、武田、金崎が2トライを決めた。

全国大会の組み合わせ抽選は12月6日に行われる。

▽決勝

土佐塾	76	36	40	0	0	高知中央
		36	0	0	0	
高知中央	0	0	0	0	0	土佐塾
		0	0	0	0	
TGP前						TGP後
土佐塾	6	5	0	4	0	中央
		6	3	0	3	
計						計
76						0

▽HB＝野並、重森
野路中原保　家井柳川脇田山
小馬田南久　島
郡北一小山森松

【中央】W　TB　TB
【土佐塾】F　TB　FB
下山村中優階元嶋上下山橋崎
脇
山高吉田谷新松竹山竹半高金
▽HB＝武田、松原

目標は全国での飛躍

全く危なげない圧勝だったが、選手たちに笑顔はない。試合後のミーティングは長く、西村監督の厳しい言葉が続いた。

「このままで全国に行っても、大敗して帰るだけ」と指揮官は突き放した。一昨年からこれで3度目の花園となる選手も多い。「出るのが目標」だった1年目、1トライを奪った2年目、そして、今年は大きく飛躍をと周囲の期待も膨らむ。果たして、それだけのチームに成長できているのか。県予選のテーマはそこだった。

相手の中央は1、2年生主体。経験豊富な土佐塾は少々雑なプレーをしても、個人の力で押し切ることができてしまう。主将のFB金崎は「過信が出てしまった」と険しい表情を浮かべた。

後半に入り、立て続けにトライが決まって52―0。勝負はほぼ決していたが、中央の反撃に足が止まった。反則を何度も犯し、キックで自陣深く攻め込まれる。相手FW陣が両サイドに展開。慌てて止めにいき、また反則。この繰り返しの十数分だった。

残り5㍍まで押し込まれた〝ピンチ〟。花園に行けばもっと手ごわい選手たちが分厚い攻めを展開してくる。あと1カ月で「過信」を「自信」に変えるべく、厳しい練習を続行する。（井上太郎）

高知新聞社　許諾済